

2011
スカウトスキルオリンピック
-1級技能大会-
ガイドブック



日本ボーイスカウト神奈川連盟

開催の趣旨

県内の多くの1級スカウトが参加することにより大会を通じてスカウトが相互に刺激しあい、さらなる成長のきっかけを与えるとともに、参加指導者に対し自隊プログラムのブラッシュアップ、見学スカウトにはスキルアップのきっかけを与えることを目的とします。

テーマ

「より高く より早く より美しくースカウトスキル近代5種競技」

ー目指せスキル金メダル、目指せスーパー1級ー

開催日程

平成23年11月20日（日）8：00～16：00

開催場所と会場へのアクセス

横浜市旭区大池65 こども自然公園【集合場所：芝生広場(第2駐車場横)】

電車利用の場合：相鉄線いずみ野線 南万騎が原駅より徒歩7分

車利用の場合：公園内の第2駐車場（有料）に駐車下さい



競技参加資格

神奈川県連所属の1級以上（11月20日時点）のボーイ隊スカウト

※ 事前参加エントリーをお願いします。

見学者

指導者、スカウト、関係者の見学及び応援は自由です。

参加費

参加費は競技参加スカウトのみ500円/人を当日会場受付に納入する。

服装と持ち物

服装：

制服、制帽

持ち物：

- ① 昼食弁当 ②水筒 ③手旗 ④シルバコンパス ⑤ナイフ ⑥軍手
- ⑦三角巾2枚 ⑧スカウトハンドブック ⑨筆記用具
- ⑩ 交通費（南万騎が原までの往復分） ⑪参加費500円
- ⑫ その他必要な物

注意事項

- ・ 前日及び当日は検温し発熱している場合は参加せず、隊指導者に連絡すること。
- ・ スカウトのみ参加する際には事前事後に隊指導者に出発帰着を連絡すること。
- ・ 会場への往復移動時には交通安全に注意すること。
- ・ 競技中は大会実行委員の指示に従うこと。
- ・ プログラム中のケガや体調不良の際には大会実行委員に連絡すること。
- ・ 会場連絡用携帯電話 ゆしな油科実行委員長 090-4937-0533

大会スケジュール

| 時間 | 内容 | 場所 |
|-------------|-------------|--------|
| 8:00~8:30 | スカウト集合・受付 | 芝生広場 |
| 8:30~9:00 | 開会式・グループ編成※ | 芝生広場 |
| 9:10~10:00 | 第1種目競技 | 各種目別会場 |
| 10:10~11:00 | 第2種目競技 | 各種目別会場 |
| 11:10~12:00 | 第3種目競技 | 各種目別会場 |
| 12:00~12:40 | 昼食（持参弁当） | 会場内 |
| 12:50~13:40 | 第4種目競技 | 各種目別会場 |
| 13:50~14:40 | 第5種目競技 | 各種目別会場 |
| 14:50~15:20 | 全体交流ゲーム | 芝生広場 |
| 15:30~16:00 | 表彰式・閉会式 | 芝生広場 |
| 16:00 | 解散 | |

※ 参加スカウトをプログラム運営上5グループに分けます。

会場配置図と競技会場



受付（時間：8:00～8:30 場所：芝生広場）

- ・本部受付にて所属及び氏名を申告すること。
- ・参加費500円/人を納入すること。なるべく隊又は地区で纏めること。
- ・競技グループ（A～E）の指定を受けること。
- ・競技カード及びゼッケン・名札を受領し着用すること。
- ・受付後は芝生広場にて待機すること。

開会式（時間：8:30～9:00 場所：芝生広場）

- ① 集合（地区別に整列集合）
- ② はじめのことば
- ③ 国旗掲揚
- ④ ソング「連盟歌」
- ⑤ 主催者挨拶
- ⑥ スカウト宣誓
- ⑦ おわりのことば
- ⑧ 競技内容及び注意事項説明
- ⑨ 競技グループ編成（A～Eグループ）

競技（9:10～12:00・12:50～14:40）

会場別競技スケジュール

| 競技名 | ①救急法 | ②たき火 | ③組立て | ④計測 | ⑤手旗通信 |
|-------------|------|------|------|-----|-------|
| 会場 | ドーナツ | きりかぶ | 芝生 | 自由 | ピクニック |
| 9:10～10:00 | A | E | D | C | B |
| 10:10～11:00 | B | A | E | D | C |
| 11:10～12:00 | C | B | A | E | D |
| 12:00～12:40 | 昼食 | | | | |
| 12:50～13:40 | D | C | B | A | E |
| 13:50～14:40 | E | D | C | B | A |

グループ別競技スケジュール

| グループ | A | B | C | D | E |
|-------------|----|---|---|---|---|
| 9:10～10:00 | ① | ⑤ | ④ | ③ | ② |
| 10:10～11:00 | ② | ① | ⑤ | ④ | ③ |
| 11:10～12:00 | ③ | ② | ① | ⑤ | ④ |
| 12:00～12:40 | 昼食 | | | | |
| 12:50～13:40 | ④ | ③ | ② | ① | ⑤ |
| 13:50～14:40 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

昼 食 (12:00～12:40)

午前中の競技終了後、会場内にて昼食（持参弁当）をとること。

全体交流ゲーム (14:50～15:20 場所：芝生広場)

競技終了後、参加スカウトを対象とした全体ゲームを実施します。

閉 会 式 (15:30～16:00 場所：芝生広場)

- ① 集 合（地区別に整列集合）
- ② はじめのことば
- ③ 競技別評価成績発表
- ④ 表 彰（総合成績及び競技別成績優秀スカウトを表彰）
- ⑤ 「弥栄」三唱
- ⑥ 講 評（県連コミッショナー）
- ⑦ 主催者挨拶（県連理事長）
- ⑧ ソング「光の路」
- ⑨ 国旗降納
- ⑩ おわりのことば
- ⑪ 解 散

☆ 終了後、ゼッケンと名札は地区ごとに纏めて本部に返却してください。

プログラム実施要綱(スカウト版)

種目①「救急法」ネーミング <アクシデント発生 君がやらずに誰がやる！>

| | | | | |
|--------------|-------|------|------|------|
| 競技場所: ドーナツ広場 | 進行担当者 | 横浜地区 | 若原琢磨 | 佐藤荘一 |
|--------------|-------|------|------|------|

スカウト準備品: 三角巾(各自2枚持参) ガーゼ(各自1枚持参)

【競技の進行】

・競技説明(2分)

「2級挑戦ハイキングを引率しているとき倒れている人を発見しました。2級スカウト達は動揺しています。あなたが すぐに行動を起さなければいけません。」

傷病者に対する救急救命対応、応急手当をすることを想定した競技です。

・組分け(3分)

全体を二組に分け それぞれ競技①と②に誘導します。

2人1組で行う競技②のバディを指示します。

・競技①傷病者発見時の初期対応(15分)

ハイキング中に倒れている人を見つけました。どのように対応するか実演してもらいます。

・競技②三角巾による患部の包帯 他(15分)

ひどい怪我をおった人を発見しました。その個所を圧迫止血法および三角巾による包帯法で応急手当をもらいます。バディで交互に手当てを行うこととし、1人の持ち時間は5分です。持参した三角巾を用いてください。

・成績集計・発表(5分)

グループ全体のスカウトの採点結果を知らせます。(次の競技場所の指示も行う)

【競技ルール】

競技①救急救命初期対応(制限時間5分)

- ・心肺蘇生ダミー人形を使って、救急救命初期対応を行ないます。
- ・カンニングしない。テスト実施者以外は声を出さない。開始終了の合図に従う。

競技②包帯法(制限時間5分)

- ・持参した三角巾、ガーゼを使用すること。
- ・処置をする部位については、テスト実施者ごとに くじにより決めます。
- ・カンニングしない。テスト実施者以外は声を出さない。開始終了の合図に従う。

【審査基準】

競技①救急救命初期対応

- ・ボーイスカウト救急法による初期対応動作項目および正しい順番。
- ・動作のスムーズさ、正確さ。
- ・開始から終了までの態度等を審査します。

競技②包帯法

- ・三角巾の畳み方/折り方の正しさ。
- ・結びの位置の正しさ/本結びになっていること/緩まないこと。
- ・末端処理の確かさ。
- ・止血の正確性。
- ・開始から終了までの態度等、傷病者に対する気遣い等を審査します。

【備考】 スカウトハンドブックおよび「ボーイスカウト救急法」に則り採点します。

プログラム実施要綱(スカウト版)

種目②「 焚火 」 ネーミング <人類究極の食糧>

競技場所： きりかぶ広場 進行担当者 横浜中央地区 坂本

スカウト準備品： 軍手または皮手、【手入れのされた】ナイフ (ロック機能のあるものが望ましい)

【競技の進行】

①競技説明 (5分)

集合整列、点呼、ルール説明、刃物と火の危険性の説明

②火起こし準備 (10分)

スカウトに薪、杉皮、マッチ5本を支給する。

薪を割るなど準備をする。刃物の使い方が未熟なスカウトには、アドバイスをする。

③競技 (20分)

審査員の合図で開始、ポップコーンが出来た時点で、審査員にゼッケンとマッチ使用本数を報告する。

続いて片付けを行い、審査員に片付けが終了したことを報告する。

④片付け (10分)

⑤結果報告 (5分)

集合整列、審査結果を確認し、次の競技場所へ移動する。

【競技ルール】

- ・マッチ3本以内で鉄板の上で火を起こし、五徳にセットされた器具でポップコーンを作り、後片付けをする。
- ・薪は長さ約20cmの杉材2本と杉皮を受取り、所定の位置につく。
- ・道具は ナタと個人装備のナイフのみ使用可能で、「薪割りなどのたきつけ」の準備をする。(刃物の取扱いには安全に充分注意すること)
- ・競技は、スタートの合図で薪を組むところから始める。タイムリミットは20分。薪組は鉄板からはみ出さない。
- ・ポップコーンが焼けたら、その場で起立し「ゼッケン、マッチの使用本数」を伝える。審査員が確認し、タイムを読み上げます。
- ・マッチを使ってしまった場合は、スタッフに「ゼッケン」を伝えてマッチを2本受取る。
- ・着火後の刃物の取扱いは禁止とする。五徳にセットされた器具や具材を変更、ダメにした場合は、競技中止とする。
- ・ポップコーンが焼けたら、消炎させて、審査員に「ゼッケン、片付け始めます」と伝えて、審査員の点検後、安全に充分注意して片付けをする。
- ・片付けが終了したら、審査員に「ゼッケン、片付け終わりました」と報告し、点検を受け、待機場所で待機する。

【審査基準】(合計100点、集合から解散まで)

- ・スカウティング(服装、姿勢、態度)
- ・マッチの本数 3本まで (4本以上は減点)
- ・焼けた時間または終了時点での火炎の状態
- ・刃物の取扱いなどの安全への配慮

※スカウトには以下の点に注意、お願いする

- | | |
|-----------------------|---------|
| ・刃物と火が「危ないもの」と理解してもらう | ・無理をしない |
| ・時間を守る | ・ルールを守る |
| ・審査員への報告は大きな声です。 | ・片付けをする |
| ・チームのことを考える | |

【備考】必要とされる知識と技能は、スカウトハンドブック 「スカウティングをはじめよう」P6~23、「きみの安全」、「ナイフその他の刃物」、「火の起こし方」、「野外科理辞典」P178~227 で、これを実践して、ナンバーワンを目指して下さい。

プログラム実施要綱(スカウト版)

種目③ 「組立て」 <究極の野営工作>

競技場所: 芝生広場

進行担当者

横浜みなと地区 川口 翔

スカウト準備品: ナイフ

【競技の進行】

①説明

- ・ナイフをもって集合、人数確認
- ・ルール説明

②競技 野営に適したランタンスタンドを作る。

- ・審査員の合図で競技開始 → 完成しだい審査員に報告。
- ・競技開始から30分で全員作業終了 → ランタンを取りつけて40秒を計る。

③審査

- ・審査を受けたらランタンスタンドの解体、ゴミ拾い。
- ・点検。(原状復帰を確認)
- ・結果発表。

【競技ルール】

①支給された材料を使用する。

材料: 竹……1セット(120cm×2本 90cm×2本 60cm×3本 30cm×3本)

麻ひも……1巻

ペットボトル……1本(1.5ℓサイズに1ℓの水を入れてランタンに見立てる。)

※ランタンには吊り下げ用の紐(15cm)を付けて支給する。

※竹は全て使わなくてもよい。

※大会を通して使うため、竹とペットボトルは、傷をつけてはいけない。

②競技時間は30分。30分経った時点で審査を開始する。

③角縛り・筋交い縛りは必ず一カ所以上使用すること。

④ランタンの取り付け方は自由。但し、ランタンの熱で竹や草が燃えないよう配慮すること。

【審査基準と審査方法】

■審査基準

①30分以内に完成

②角縛り、筋交い縛りを一カ所以上使用している。

③40秒以上、ランタンを支持することができる。

④ランタンの基部と本体が15cm以上離れている。

⑤競技に臨む態度

■審査方法

・競技終了時間(30分)よりも早くランタンスタンドが完成したスカウトは審査員に報告をし、審査を受ける。

・30分経った時点で全員の審査を行う。

・5人の審査員が、スカウトを4人ずつ審査する。

プログラム実施要綱(スカウト版)

種目④「計測」ネーミング <未確認飛行物体襲来>

競技場所：自由広場

進行担当者

湘北地区 原田 嶋崎

スカウト準備品 コンパス 筆記用具 ハンドブック

【競技の進行】

受付～オリエンテーション(10分)

- 1) コンパス、筆記用具、ハンドブックのみを持ち、整列
- 2) 点呼、想定文発表、競技説明
- 3) グループを4グループにわけ、それぞれの受付に移動する。
- 4) 受付で問題カードを受け取り、ゼッケン番号、名前等を記入して、指示された各自のスタート位置に着きスタートの合図を待つ。

【競技(30分)】

ステージ1 落下物を発見せよ。(方位角と距離による目標物の発見)

- 1) スタートの合図とともに、カードに記載されている方位角と距離にある落下物を探し、その落下物に書いてあるサインを1問ずつ受付に報告する。「カード番号○番の○問目は○○」
- 2) 正解ならば次の問題に進む。間違えていたらやり直し。
- 3) これを繰り返し、5問正解したらステージ2に進む。

ステージ2 宇宙人を救出せよ(高さの計測)

問題はあらかじめ掲示、それを読んで自主的に計測開始
計測が終了したら、結果をカードに書き、受付に提出し、競技終了。

移動準備、解散(5分)

【競技ルール】

- ・ 競技時間はステージ1、2を通して30分とする。
- ・ 時間経過は5分毎にホイッスル(長音1回)で知らせ、終了の合図は長音3回とする。
- ・ 計測の方法は問わない。(ただし使用できるツールはコンパス、筆記用具、ハンドブックのみとする。)
- ・ 競技中は私語厳禁

【審査基準】

ステージ1 (10点) 1問ごとに2点 全問正解で10点

ステージ2 (50点) 正解との誤差10cmごとにマイナス5点

時間点 (30点) 30-(計測にかかった分数)

態度点 (10点) 真剣に取り組んでいるか? マナー違反はないか? ……

【備考】

歩幅、腕の長さ等を確認しておく。ハンドブックとコンパスをうまく使えば簡易計測器になるかも…。

プログラム実施要綱(スカウト版)

種目⑤「通信」ネーミング <その旗で思いを届けろ>

競技場所: ピクニック広場

進行担当者

小田原地区 熊澤

スカウト準備品: 手旗、筆記用具

【競技の進行】

- ① 競技の説明 (5分)
- ② 競技 (40分)
 1. 信号解読
 - ・送られてきた文章を各自配布された解答用紙に記入する。
 2. 信号送受信
 - ・グループ内を4~5人一組に分け、組毎に送受信を行う。
- ③ 答え合わせ(5分)
 1. 隣の人と解答用紙を交換し、それぞれの答えをチェックする。
 2. 採点后本人に返却し、得点を確認する。
 3. 解答用紙を担当者に提出する。

④ 解散、移動

【競技のルール】

1. 信号解読
 - ・30字程度の文字を受信し、その内容を解答用紙に記入する。
2. 信号送受信
 - ・グループで、4~5人一組に分かれる。
 - ・指定された場所に1人ずつ立ち、その他のスカウトは後を向く。
 - ・送信者が発信した問題文を解答用紙に記入する。
 - ・自分が送信する回答文を解答用紙に記入する。
 - ・自分の解答用紙を担当の指導者に手渡してから、その指導者に対し送信をする。

【審査基準】

- ・信号の送受信は正解文字数に応じて、加点方式とする。
- ・送信は、正確性だけでなく、姿勢、時間も加味する。
- ・返信は自分が送ろうとする文章が正しく送れたとしても、問題文に対する回答として間違っている場合は加点しない。
- ・スカウトとしての態度、対応についても得点対象とする。

【備考】

スカウトハンドブックを事前に確認しておいてください。

<メモ>